

中学校生徒会で

多くの人にあいさつを

下諏訪中学校 三年

宮下 直樹



社中学校では、友人や地域の方々へのあいさつを実行しています。ふれあい委員会では、今年度で二回あいさつ運動を行いました。朝、昇降口に委員が立ち、登校して来る人にあいさつをします。そうすることにより、一層の意識づけをすることがねらいです。しかしこの時、あいさつを返してくれる人はあまりいませんでした。委員が照れてあいさつするので、相手も返しくなかったのです。その反省を生かして、二回目のあいさつ運動に取り組みました。最初は照れていた委員も、一度大きな声であいさつをするとだんだん慣

れていき、照れる人もいなくなりました。大きく気持ちよいいさつでみんなを迎えることができ、その結果あいさつを返してくれる人が増えました。

あいさつは、自然にかわすものだと思います。自然にあいさつの声がとびかう、明るい学校や明るい地域になるといいなと考えます。そうすることで、困ったことを相談したり助け合ったりすることができる環境になるのだと思います。これからさらに、あいさつの大切さを意識して、多くの人にあいさつでできる明るい社中を目指し、活動していきたいと思っています。

(ふれあい委員会委員長)



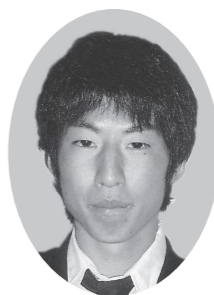
下中ではPTAもあいさつ運動

高校自治生徒会で

自然なあいさつが溢れる学校に

下諏訪向陽高校三年

安藤 奨平



あいさつとは、人と人の気持ちを伝え合う大切なコミュニケーションだと思っています。武道の世界でも「礼に始まり、礼に終わる」と言われるように、あいさつはとても大切な役割をしています。しかし最近、学生を中心に「恥ずかしい」「面倒くさい」などと理由をつけ、あいさつをしない人間が増えています。

下諏訪向陽高校は、十月に「生活体制作り」を実践しました。毎朝、下諏訪駅、向陽坂、学校玄関で、生徒自治会役員が生徒や駅を利用する人にあいさつを行い、その実態について検証し

ました。

検証結果では、多くの生徒や駅利用者があいさつを返してくれていましたが、中にはイヤホンをつけていて聞こえていないのか、無視する人もいて残念に思いました。先ず誰もが自然にあいさつができるようにするにはいけない、と感じました。

そこで生徒自治会が中心となり、毎週一回あいさつ運動を行い、いつでもどこでも、あいさつが飛び交うような学校作りをすすめていきたいと考えました。私は、あいさつとは人が生きていく上でもっとも重要なものの一つだと思っています。あいさつをすると自分の心も気持ちいいし、相手の心も晴れ晴れすると思います。

そのような自然なあいさつが溢れる下諏訪向陽高校を目指し、生徒自治会役員の先頭に立って運動をすすめていきます。

(生徒自治会長)



うれしいエピソード

「あいさつしてよかった」 北小

★ちよつと怖そうに見えた高校生に、思い切つてあいさつしてみた。「おっ、いいじゃん」と言ってくれた。

★いつも道で会っているけれど、そのまま通り過ぎてしまっていた人に、思い切つてあいさつしてみた。するとあいさつを返してくれて、それ以来、毎朝あいさつをしてくれるようになった。

★地域行事で困ったことがあったときに、いつもあいさつしているおじさんが助けてくれた。あいさつして顔を覚えてもらっていたからかな。

★正月の松飾り集めするとき、元氣にあいさつをして訪問した。「いいあいさつだ。私も元氣になる。」と、とても褒めてくれた。その後学校にも連絡してくれたようで、そのことが全校に紹介された。「ほくのことだ。本当に喜んでくれていたんだなあ。」ととっても嬉しかった。

家庭では

ありがとうの魔法

湯田 伸町 小松 涼子



伝えられて嬉しいあいさつ、伝えてみて嬉しいあいさつ。その中で私は、「ありがとう」という言葉をとても大切に思っています。物心ついた子どもには「ありがとう」という言葉を教えています。そのせいか小学校に上がった子どもたちは、行事の時々「おかあさん、いつもありがとう」と書いた手紙を渡してくれました。

ところが大人の私たちはどうと、何だか少し照れくさく、

言わなくても分かってくれるだろうと、つい「ありがとう」の言葉を飲み込んでしまいがちです。

「ありがとう」は、感謝を伝える言葉。私は三十代になったころから、嬉しいなあ、ありがたいなあと思つたら意識して伝えようと決めました。そうは思つても実行に移すとになると、なかなかタイミングがあわないと思うこともあります。

そんなとき子どもが、夕食を作っている私の背中にくっついて笑顔いっぱい「さつきはありがとう！」とひと言。その言葉で子どもの嬉しい気持ちが伝わってきて、私自身もとても幸せな気持ちになりました。難しいことではないのだと、再び子どもに教わった気がしました。

「ありがとう」を伝えることで、気がついたことがたくさんあります。自分が笑顔でいられること、感謝の気持ちが膨らむこと、自分の周囲にも笑顔が増えること、そして、また「ありがとう」と言いたくなるような、嬉しい出来事が舞い込んでくる

ことも。

「ありがとう」の言葉と笑顔には、心が動く不思議な力があるのだと思います。心と心が触れ合うことで、私たちは感謝の気持ちを持ちながら幸せを感じ生きていくことが出来る。改めてそんな風に思う、四十代を迎える今日この頃です。



保護司会・更正保護女性会でもあいさつ運動



下中玄関前で